



尾関 栄子



動画配信中

PCR検査の大規模な拡充を！

問 自覚症状のない感染者もいることから、感染拡大防止のために一日も早くPCR検査を拡充し、陽性者の入院や隔離をすべきではないか。

市長 国は新型コロナウイルス感染症の新たな対策パッケージを公表し、同感染症に係る検査能力を1日約6万件から20万件程度に上げることが示した。国の取り組みに対して本市でもできる限り協力し、市民の心配がなくなるよう努めたい。

◆まちづくりの考え方

問 入所希望がある中で名草保育所の廃止を決めたことは子育て支援に逆行する。名草地域に若い方々を呼び込むためにも、同保育所を残すべきではないか。

副市長 本市の保育所の在り方や、民間保育園・幼稚園との関わり方も踏まえて大変悩んだが、送迎が不便になったとしても子どもを集団の中で育てたいという保護者の声を受け、名草保育所の廃止を決断した。子育てしやすい足利市を目指し、保護者の方々のご意見を聴きながら保育所の在り方について引き続き検討していきたい。



荻原 久雄



動画配信中

デジタル化社会の推進について問う！

問 ポストコロナ時代の新しい経済社会に対応していくため、デジタル化に向けて取り組むべきと考えるがどうか。

市長 ICTを活用し、コロナ禍における市内消費の喚起や家計への支援、公共施設の利便性向上、教育環境整備など、本市のデジタル化に追い風となるような事業を進めていく。デジタル化の推進により質や利便性の高い行政サービスを全ての市民が享受できるよう、きめ細やかな対応を行っていく。

◆GIGAスクール構想

問 デジタル化を推進していくに当たり、ICT全般を理解する最高情報責任者(CIO)が必要と考えるが所見を聞きたい。

市長 新型コロナウイルス感染症の影響により、特に教育や行政の現場におけるデジタル化が求められる中、ICTを効率的に生かすためにはその分野にたけた人材の配置は重要と考えている。人材の調達に関する課題やデジタル化が進んでいく中で見えてくる問題点もあると思うため、総合的に検討し、判断していきたい。

特別委員会の審査から

決算審査特別委員会

委員長 横山育男、副委員長 鶴貝大祐

◆議案第52～61号の審査

令和元年度の各会計決算について、全議員で構成する特別委員会を設置し、2日間にわたる慎重な審査を行いました。審査に当たっては、各会計の決算書や市政年報、証票書類などの資料を基にチェックを行い、市当局と活発な質疑応答を交わしました。

なお、各会計決算の概要については、11月号の広報あしがみ(2～4ページ)をごらんください。

○審査結果 各議案を原案のとおり可決、認定

各種会議への出席状況等

本市議会では、市当局からの依頼により、議員が監査委員など24の委員等に就任しています。

これら各種委員の会議出席状況など、議員の活動状況をお知らせします。

【令和2年6月24日から9月24日の状況】

○各種委員の会議への出席

32回

○講師派遣依頼による議員の派遣

1回